



げんげんどう

特集 当院における
腹膜透析の実際

2024.4 No. 98

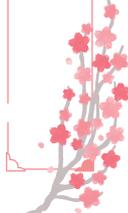
- ① 呼吸器内科部長 野口医師の油絵 - 北海道余市町の春のりんご園風景 -
- ② 新入職員入社式 新入職員に望むこと 新任医師紹介
- ③ 玄々堂木更津クリニック移転・ウェル・ヴィレッジ木更津開設後の心境
- ④ 当院における腹膜透析の実際
- ⑤ 腹膜透析の看護～病棟の視点と外来の視点～
- ⑥ 部署紹介 医事課の仕事 診療報酬改定について
- ⑦ 病院の食事について 当院の災害対策について
- ⑧ 人間ドックのお知らせ



表紙の絵：呼吸器内科部長 野口医師が描いた油絵です。北海道の小樽市郊外にある余市町は丘陵地帯にはサクランボ、リンゴなどの果樹園が広がっています。雪に閉ざされた長い冬が終わり、雪解けの後の季節が訪れる春には様々な果樹の花が咲き誇り、あたり一面を花で埋め尽くします。

令和6年度

入社式開催



副看護部長 鳥飼 紀子

4月1日、当院大会議室にて新入職員24人の入社式が執り行われました。新入職員代表挨拶では、看護師の川上恵利夏さんが緊張しながらもしっかりと誓いの言葉を述べました。

入社式後は3日間のオリエンテーションを通じて、病院理念や就業規則、安全対策、感染対策、接遇など多くの講義を、真剣なまなざしで聞き取る姿が印象的でした。



新入職員代表挨拶



令和6年度新入職員一同

活気ある2024年組の仲間たちの入職を心から嬉しく思います。

新入職員に望むこと

事務長 宮本 弘幸

今年も新入職員を迎えることができ、大変嬉しく思います。皆さんは自分で決め、医療の道に進んでください。



スタートになります。

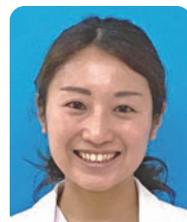
これから皆さんは、新しい知識を身につけ、人間関係を構築するなど、一人前になるまでには悩みや不安になることが多くあるかと思えます。そんなときは上司や先輩に相談すればきつと力になってくれるはず。そのためには接遇を身につけ、報連相をするなど、日頃からコミュニケーションを取り、関係を築いておくことが仕事を進めるためにも大切です。一つずつ悩みや課題を解決し成長してください。

当院は二人一人の患者さんを大切に、良質な安心なぬくもりのある医療を提供いたします。理念に掲げ地域医療を行ってきました。常に相手の立場になって考え、心から接することのできる一人前の医療人になることを期待しています。

新任医師紹介

4月より赴任された2名の医師の自己紹介です。

麻酔科医師 齋藤 明子



4月より赴任いたしました、麻酔科の齋藤です。これまで10年間、君津中央病院で勤務してまいりました。複数の麻酔科医のいる環境で様々なスタイルの麻酔方法を学びました。

玄々堂君津病院では、これまで得てまいりました経験を活かしつつも、医師、看護師、臨床工学技士、検査技師など、手術室に関わる複数の職種の方々のご協力を得ながら、安全で患者さんに寄り添った手術室環境を提供できるよう日々精進してまいります。よろしくお願ひ致します。

整形外科医師 平野 貴大



はじめまして、整形外科の平野貴大と申します。1994年生まれで医師5年目になります。出身は埼玉県で、初期研修を経て2022年4月より昭和大学整形外科講座に入局しております。学生時代サッカー部で趣味はサッカーと競馬です。今回、助崎先生のもとで学ばせていただきながら自分の力の限り病院に貢献できればと思っております。

「迷惑をおかけすることが多分にあるとは思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。」

玄々堂木更津クリニック移転

ウエル・ヴィレッジ木更津 開設後の心境

「地域の皆様に愛される施設を目指して」

ウエル・ヴィレッジ木更津施設長 佐藤 年成

ウエル・ヴィレッジ木更津では、ご入居者同士の交流や職員スタッフとの情報交換を通じて孤立することなく、豊かな生活を送ることができるよう取り組んでいます。入居者同士の交流を促進するために、定期的なコミュニティイベントやグループ活動を企画し、入居者が互いに支え合い、楽しみ合える場を提供しています。また、職員スタッフもご入居者とのコミュニケーションを大切にし、ご入居者のニーズや関心事に真摯に向き合います。

さらに、同一法人内の医療機関、玄々堂木更津クリニック・玄々堂君津病院による医療面でのバックアップ体制は、安心して生活できる環境を提供する上で大きな利点です。ご入居者が健康面での不安や疑問を抱えられた際、迅速かつ適切な医療サポートを受けることができます。医療スタッフとの連携も円滑に行われ、ご入居者の健康状態を常に把握し、必要なケアをタイムリーに提供することができます。ウエル・ヴィレッジ木更津では、ご入居者の安全・安心・健康を第一に考え、医療面での安心感を提供するために、施設内での交流と同一法人内での医療バックアップ体制の充実に努めています。

私の目標は、ご入居中の皆さんがご自宅として愛

着を持ち、支え合いの場として生活していただけるような、温かみのある施設を築くことです。地域の皆様に愛される施設を目指し、全力投球で臨みます。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

通所リハビリテーション開始後の 利用者の変化

玄々堂木更津クリニック

リハビリテーション科副主任 石井 達規

玄々堂木更津クリニックは開設後半年が経過し、通所リハビリテーションは主に木更津・袖ヶ浦地区の方がご利用されており、通所リハビリテーションでは、専門職による1対1でのリハビリテーションを心がけています。また、豊富な機材によるエクササイズを行っております。リハビリテーション科では、定期的に利用者とは相談しながら目標を設定し、身体機能に合わせたプログラムを提供しております。利用者の中には初回通院時よりも歩行能力が改善した方や、日常生活動作においてご自身で行える動作が増えた方も沢山あります。また、介護スタッフによる入浴介助や排泄支援、集団体操やレクリエーション等の幅広い介護サービスを提供しております。特に入浴設備はミスト浴を導入したことで一般浴が困難な利用者も快適に入浴することが可能となっております。リハビリテーション、介護サ―

びス共に利用者が充実した時間を過ごせるよう取り組んでおります。

玄々堂木更津クリニックで 手術ができるようになりました

玄々堂木更津クリニック看護師長 服部 美由紀

血液透析患者さんの内シャントは生命線と言っても過言ではありません。内シャントとは、患者さん自身の動脈と静脈を皮膚の下で、つなぎ合わせる手術を行い、静脈に流れる血液の量を増やして血液を取りやすくする方法です。当院及び他施設の透析患者さんの内シャントが狭窄・閉塞といったトラブルを呈した場合、速やかに治療ができるよう手術室を併設しました。これにより多くの患者さんに対してPTA（経皮的シャント拡張術）が迅速にできるようになりました。当院では造影剤を使用しない超音波下でのPTAを行っています。

「検査も手術も一か所でもいいから安心」午前中に診察、午後には治療。明日はいつもの透析室に行くだけなんでありがたい」という声をいただいています。



移植・腎臓外科部長、工藤医師によるシャントPTA

特集

当院における腹膜透析の実際

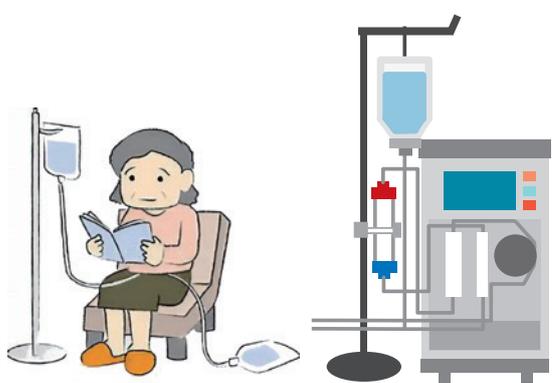
腎臓内科部長
西山 成一



皆さんは「腹膜透析（ふくまくとうせき）」をご存じでしょうか？

腎臓が悪くなったら「透析」が思い浮かびますが、「血液透析」をイメージされている方が多いと思います。週3回病院に通って、針を刺して血を汲み上げて、機械で浄化して、という治療ですね。

実は透析治療にはもう一つ「腹膜透析」というものがあります。おなかの中には胃腸を養い栄養を回収する為に、たくさん血液が流れています。この血液から余計な水分、毒素を抜きとって浄化するのが腹膜透析です。血液透析と違い、おおがかりな装置を必要としない自宅でも連日行う治療です。患者さんご自身やご家族に手順を覚えていただき、透析を行っていただきます。



腹膜透析

血液透析

通院の回数が少なくて済む、治療中の体調変

化が起きづらいなど、血液透析にはないメリットがあるのですが、知名度が低く、患者さんの数も多くはありません。当院でも血液透析の患者さんが約700名に対し、腹膜透析は15名前後しかいらっしゃいません。

腹膜透析を選択される患者さんの割合は、ヨーロッパやカナダでは20〜30%、香港では70%といわれるのに対して、日本ではわずか3%です。

腹膜透析が日本で普及していない理由は「血液透析がすでに圧倒的に普及している」ことが一番だと思います。血液透析がどうしてもできない、腹膜透析でなければならぬ、というケースが少ないのです。

ですが血液透析を受けておられる患者さんの中にも、腹膜透析のほうが良いと思われるケースは意外に多く、特に高齢で「合併症がある」「体力が落ちている」「食事や運動の量もあまり多くない穏やかな生活をしている」というような方には腹膜透析が適していると感じます。

血液透析は透析の日にわずか数時間で一気に水分・老廃物が除去されるため透析前後の体内環境の変化が大きく、それにより疲労感、だるさなどを感じるものが少なくありません。腹膜透析は毎日行う

ため、体内環境の変化は小さくて済みます。心臓を患った方や体力が落ちている方では血液透析中に血圧が下がったり、不整脈の発作が出て調子が悪くなることもあり、治療する側も「体に無理をさせているな」と感じる可能性があります。腹膜透析では血圧や脈の変化が起きづらく、体への負担も少ないと感じます。

元気でよく食べよく動く方ですと、血液透析で厳しい水分量の調節、毒素除去が必要ですが、穏やかな生活をしている方では腹膜透析による、緩やかな水分、毒素の除去で十分なことも多いです。

当院では腎代替療法（じんだいたいりょうほう）選択外来を行っており、いよいよ透析が必要になった際、患者さんの生活を踏まえた透析治療を提案しております。また、すでに血液透析を受けている方でも腹膜透析に切り替えることはできます。

まだまだ知名度が低く、周辺医療機関、介護施設などの受け入れ態勢も十分整っていないとはいえない腹膜透析ですが、当院では無理な血液透析を続けずに済むように、よりふさわしい人に腹膜透析が提案できるように治療体制を整えております。ご興味を持たれた方は「腹膜透析について知りたい」と外来にお問い合わせください。

腹膜透析の看護 — 病棟の視点 —

腹膜透析指導看護師 3A病棟看護師主任 板垣 由香

腹膜透析は開始前に腹膜透析カテーテル挿入を行います。病棟では、挿入されたカテーテルに異常がないか、薬液を注入し確認してから腹膜透析が開始されます。

退院前には自宅に同行し、機器の配置を行います。そして、自宅での注意点を一緒に考え、安全・安心に自宅で腹膜透析ができるようにしていきます。

入院期間は2週間程度ですが、メ

ニュー次第では1週間程度で退院することもありますが、また、ご家族の管理下でも腹膜透析を行うことができ、家族指導も行っています。

適切な腹膜透析を続けられるようにすることが、病棟看護師の使命だと思っております。

適切な腹膜透析を続けられるようにすることが、病棟看護師の使命だと思っております。



腹膜透析を長く続けることができるからです。そして、災害時やトラブル時については、緊急時に困らず、焦らずに対処できるように、具体的な内容でお伝えするようにしています。災害やトラブルがあっても、続けることがで



私たちが腹膜透析チームです！

腹膜透析の外来は、医師によって外来看護師と透析室看護師で分担しています。担当する看護師は、患者さんがトラブルなく腹膜透析を継続できるように支援しています。診察前にカテー

今回、80歳代のAさんから、「こんな年寄りの自分でも、腹膜透析の手技を覚えて、畑や家のことも出来て体調良く過ごせているのはありがたい。自分が腹膜透析の説明を聞いた時は見当がつかず困った。ぜひ、今後腹膜透析について悩んでいる患者さんがいた時には、自分の経験を伝えたい。自分もやっているとこころを見に来てもらい、こんなに良い治療だと理解して欲しい。」と感謝と腎代替療法選択時の苦労や悩んでいる患者さんの役に立ちたいとお話がありました。以前は、患者さん向けに勉強会や説明会、患者さん同志の懇談会を病院で開催していましたが、コロナ禍により現在は開催されていません。Aさんからの貴重な意見と御厚意を受け取り、Aさんの腹膜透析の実際を動画撮影させて頂き、患者さんの指導に活用させていただきます。

だき、手技の再確認と出口の観察を行い、治療内容を記録した手帳から順調に腹膜透析が出来ているか、困っていることや医師に相談したいことはないか話を聞き、必要時指導を行います。患者さん一人一人の生活スタイルや背景に応じて、より良い腹膜透析が行えるよう多職種とも連携して支援しています。

だき、手技の再確認と出口の観察を行い、治療内容を記録した手帳から順調に腹膜透析が出来ているか、困っていることや医師に相談したいことはないか話を聞き、必要時指導を行います。患者さん一人一人の生活スタイルや背景に応じて、より良い腹膜透析が行えるよう多職種とも連携して支援しています。



医事課の紹介

医事課課長 山口伸行

医事課は、病院に来院される患者さんとの最初のふれあいを担当する部署です。

患者サービスとして受付・会計業務、そのほか保険請求業務・書類作成業務等を受け持ち、長い歴史を歩んできました。

患者さんとは受付してからお帰りいただくまで、見えない部分も含めて様々な場面で関わりを持たせていただきます。これらのスムーズな運行を心掛け、「病院の顔」となれるよう日々努力しております。

受付の対応が直接患者さんに伝わり、様々な評価が今日までありましたが、1日平均450名の外来



患者さん、約130名の入院患者さんの様々な声に対し、「寄り添う気持ち・思いやりの心」を基本に病院の代表として患者サービスに誠心誠意取り組みます。



2024年度診療報酬改定について



2024年は診療報酬改定が行われる年です。これにより患者さんが支払う窓口負担金に変化が生じたり、治療の内容に制限がかかったり、今まで出来なかったことが出来るようになったりします。(今年度は6月1日からの変更となります。)医療機関にとっては2年に1度のビックイベントです。(決して楽しいものではありません。)国は人口構成の変化を見据えて、現在の医療保険制度・医

私たちが医事課の職員です。



療提供体制を持続可能な形で維持するために、常日頃から全国の医療機関のデータを収集し、診療の実態やニーズの変化を把握しています。そのうえで求められる医療と見直すべき内容が、2年に1度示されるのです。今改定では医療に直接関係すること以外にも、人材確保や働き方改革の推進、デジタル化・医療DXの推進など、現代の社会情勢を反映した内容がテーマに入っています。診療報酬体系は改定のたびに複雑化し続けますが、内容をよく理解し、正しい保険請求を行えるようにしなければならぬと思っています。

病院の食事について

栄養科栄養士
中村悦代



「病院の食事は、どのように作っているの?」とよく聞かれることがあります。今回簡単ではありませんが、病院の食事はどのように考えて提供しているのかを紹介したいと思います。

家庭料理と比べて、大きな違いは3つあります。

①食の安全性(衛生管理の徹底)を考慮した作業工程にする②各患者さんの健康維持回復を図るため、栄養を考えた複数の種類の食事を作る③大量調理である、以上の3つに配慮して、管理栄養士・栄養士が作成した献立を基に調理を行うこととなります。こうした基本的ポイントをクリアしながら、できるだけ変化に富む美味しい食事や食べやすい食事の提供

を考えています。その一例として、季節感を味わっていただけるように、お正月やクリスマスなどの行事食を月に1回取り入れています。

さらに患者さんの噛む力を考慮し、一口大や細かく刻んだり、飲み込む力に合ったペースト状に加工したりと様々な形態の食事をご用意しています。

味付けも患者さんが飽きないように和洋中の献立を組み込んでいます。こうした病院食の献立や作業工程は、知識と経験が大事であり、チームワークも重要となります。

もうひとつ、当院の特徴として、朝食に国産小麦にこだわった自家製パンを提供しております。パン

は、栄養科スタッフ丹丹精込めて作っており、患者さんから喜ばれています。

忙しい毎日ですが、「いつも美味しい食事をありがと」とメッセージを頂く事があり、栄養科スタッフの励みになっています。

これからも患者さんに安心して喜んで頂ける食事作りに努めてまいります。



当院の災害対策について

災害対策委員会委員長 総務課課長

石崎照彦

2023年度、災害対策委員会ではBCP(事業継続計画)の作成に取り組みました。BCPは災害発生などの緊急時においても事業を継続させるために必要な方針・手続き・手順などを決めておく計画であり、作成にあたっては、あらゆる可能性(被害想定)を考え計画に反映させなければなりません。

私たちは、これまでに東日本大震災(2011年)や房総台風(2019年)などで経験した停電や断水などの被害、そして診療時間の調整や患者さん・職員の安全確保などの対応を振り返り意見を出し合うことで、より現実的な計画を作成することが出来ました。これからは、この計画を病院の規模や状況に合わせて定期的に見直しを行い、その都度職員に周知し、継続的な情報共有が必要と考えております。そして、この計画を基に研修や訓練を行い、災害発生時には迅速な対応を取り、出来る限り縮小することなく事業を継続させることが、当院を利用される皆様への安全・安心に繋がるものと考えております。

災害対策は被害をイメージすることから始まると言われております。皆様におかれましても日頃から災害に備えていただければ幸いです。

めまい・ふらつきがあるとき 何処を受診すればよいか

脳神経内科医師 三枝 亜希

患者さんが訴える「めまい・ふらつき」には実はさまざまな症状が含まれます。目の前がぐるぐる回るような症状でしょうか、それともふわふわとするような「酔っぱらった」ような症状でしょうか。それとも血の気が引くような、いわゆる「貧血」のような症状でしょうか。「めまい・ふらつき」の原因は実は脳だけでなく、耳の中の内耳といわれる器官や内科的な問題など様々あります。

どのような「めまい」なのか、どのような状況で出現するのか、めまい以外の症状(例えば耳鳴りや難聴、手足の動かしづらさなど)が出現しているかを丁寧に問診・診察し、血液検査や画像検査の結果等を踏まえて総合的に判断します。まずは耳鼻科や脳神経内科を受診することをお勧めします。

人間ドックのお知らせ

当院では、疾病の予防、診断、治療の一環として人間ドックを行っています。

人間ドックは一般的な健康診断と比べて、詳しい検査を多項目にわたりに行い、様々な角度から健康状態を調べることができるため、病気の危険因子を早期発見、早期治療、病気になることを予防するためには大変有用です。

当院の人間ドックは、日帰りで行う検査を行う1日ドック、通院で行う2日ドックから選択していただくことができ、検査項目はオプションで追加することが可能です。

人間ドック担当 総務課 石川 彩乃

また、脳ドック(MRI・MRA検査)も行っており、特に高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙などの脳卒中危険因子を有する方におすすめてです。

健康に自信のある方でも、日頃の健康管理の目安として、年に一度はご自分の身体の健康チェックを行うてみてはいかがでしょうか。

オプション検査の料金については、ホームページでご確認いただくか、人間ドック担当者までお問い合わせください。

当院では、医師による結果説明は行っていません。検査終了後、1ヶ月を目安に検査結果票をお送りいたします。

助成金制度がご利用になれます。助成対象となる条件が自治体により異なりますので、人間ドック担当者までお問い合わせください。

詳しい説明をご希望の方や、ご不明な点がございましたら、お気軽に人間ドック担当者までお問い合わせください。

お問い合わせ

0439-52-3964

頭の体操・脳活コーナー

今号から四コマ漫画『げんげん日和』に代わって、脳トレクイズのコーナーが始まります。頭の体操や気分転換に、ぜひ挑戦してみてください。

穴埋め

四字熟語

空きマスに当てはまる漢字を()から選び、正しい四字熟語を完成させてください。

- ① □人□踏
(未 来 稻 前)
- ② 鶏□□後
(牛 馬 □ 因)
- ③ 自□自□
(賛 同 画 面)
- ④ □光明□
(風 流 美 媚)



※正解は下にあります。

■料金について(2024年4月1日改定)

1日ドック	66,000円(税込)
2日ドック	110,000円(税込)
脳ドック	27,500円(税込)

玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(祝日は除く)

玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんのご紹介

玄々堂木更津クリニック
0438-53-7807
代表



玄々堂グループ広報誌

げんげんどう

第98号 2024年4月25日発行

発行者:玄々堂君津病院
発行責任者:院長 池田重雄
企画・編集:新聞委員会

医療法人社団 新都市医療研究会「君津」会

玄々堂君津病院

〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-7-20

電話 0439-52-2366(代表)

URL <http://www.gengendo.jp>

